

平成26年度 町長との対話集会 会議録

期 日	平成26年7月1日(火) 19:00～21:00
会 場	角一集会所
町 執 行 部	町長, 副町長, 教育長, 町長公室長, まちづくり推進課長 農林水産課長, 総務課長
議 員	関根議員, 今村議員

町 民 ・ (お礼) 街灯が切れていることを町長に話をしたらすぐに対応してくれた。

①海岸の防波堤は、渚からどの位のところに設置するのか。築山はどういうものなのか。

②老人対策について

角一町内には65歳以上の老人が90人以上いる。独居老人は約30名、老老世帯は約30件あるが、今年、角一の老人会はなくなってしまった。町のイベントにも参加出来なくなり寂しい思いもあるので、何かみんなで出来ることを考えていかなければならない。

町 長 ①水際から150mのところに3段ぐらいの階段護岸。150m～200mのところに芝をはった築堤を設置予定である。

②日本全体が高齢化の傾向にある中で、角一も例外ではない。元気クラブのようなものを作り上げる必要があるので、町でも力を入れていきたい。地区的に元気クラブを作りみんなで活動していただきたい。

町 民 ①定住促進奨励金は2年間限定であるが、近隣の水戸・ひたちなかの若い人が大洗に土地を求めて、家を建てる人は少ないと思う。良い政策でもあるので、新聞に載せてアピールしてはどうか。税制メリットなど比較して情報発信してはどうか。

②大洗に住んで地域となじめず、家を売って出てってしまった人がいる。

③地産地消である焼酎について、味をまろやかにして低価格で販売してほしい。

町 長 ①定住促進のアピールは新聞を使って展開しているが、続けて宣伝していきたい。

②若い人に住んでいただくために総合的な魅力を強め、近所の方とも仲良くできるような生活環境をつくりたい。コミュニティも充実しているので若い人をこころよくお迎えするなど、さらにコミュニティを大事にしていきたい。

③明利さんにも話をし、価格の面など検討してみます。

町 民 水戸と合併は考えているのか。

町 長 全国町村会として道州制に反対しており、町村をなくすことは考えていない。水戸との合併も考えていない。地域の活性化により財政力を高め、大洗として単独で生き抜く。

町 民 既存の道路の補修をお願いしたい。小坪接骨院から下の道路は大雨のとき冠水し、トラックが通ると揺れを感じる。昔の堤防下の下水が浮き上がっている。

町 長 調査して環境を改善していきたい。

町 民 ①原電の件で、東海村では住民説明が始まっている。30キロ圏内の大洗では住民説明の予定はあるのか。再稼働なしの安全審査であるが、新聞では、再稼働のための審査といわれているがどうか。

②集团的自衛権が閣議決定されたが、ガルパンにも影響が出るのか心配である。

町 長 ①東海第二発電所の件は、先程話したとおり、それ以上の話はない。

②憲法の解釈で活動できる範囲については、今後決められていく。

町 民 アウトレットの賑わいが停滞している。まいわい市場はがんばっているが、これから先のアウトレットは心配である。

町 長 アウトレットでは、夏の活性化する時期までに、すぐ撤退しないような力のあるところを空き店舗に入れられるようがんばっている。サンビーチの沿道環境を整えて、新たな企業を誘致し、吸引力を高め集客できる環境づくりを働きかけている。残っている店舗は、売り上げが悪いわけではない。八ヶ岳にあるアウトレットも冬の時期は閑散としているが、撤退せずにがんばっている。

- 町 民 椿山さんのところのカーブミラーが上向きになって見づらい。
- 町 長 確認してみます。
- 町 民 松川へ行く新しい道路は、松川から大貫に向かってスピードを出している車が多く、夏海の宿から来た時にY字路が見づらく危ない。ミラーを設置できないか。
- 町 長 研究してみます。
- 町 民 大貫・夏海小学校統合後の跡地利用を考えているのか。
- 町 長 検討委員会の中で考えているが、開校後の対応となる。
- 町 民 生徒のあいさつが良い。
- 教育長 小中学校で継続的にあいさつ運動をしており、立哨活動の中でもあいさつが出来るようになったと聞いている。
- 町 民 ①わくわく科学館で遊んでいた大貫小学校の生徒に、大人の男の人が気をつけて帰るように声を掛けていた。生徒に聞いたところ先生だとわかり、郊外でも目配りしてくれていることに安心したと同時に感謝した。
②かもめ保育園を見学した際、遊びの中で英会話を教えていた。国際化の中で実践的な英会話が必要であるが、あわせて人間力をつける教育をしてほしい。
- 教育長 ①先生方は街中でも声を掛けたり、夏休みなどに町内の巡回指導も行っている。
②小学校において英語が必須になる予定である。一方で、日本語の学習とか日本の文化を学ぶことも必要であり、思いやりの心や協力して仕事をするとか人間として基本的なところを一番に伸ばしていきたい。町では徳育を推進しており、地域の方を特別講師にして徳育に関するお話をしていただいたり、徳育の作文・標語を募集するなどの取り組みをしている。
- 町 長 あいさつが基本であり、そこからコミュニティが始まる。新規採用職員には、ホテル研修でおもてなしの心を身につけさせている。

閉 会 21 : 00